



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻  
第8号) 編集後記・購読要項・投稿  
内規

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻第8号) 編集後記・購読要項・投稿内  
規. 泌尿器科紀要 1980, 26(8): 1058-1058

ISSUE DATE:

1980-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122699>

RIGHT:

# 泌 尿 器 科 紀 要

第 26 巻 第 8 号

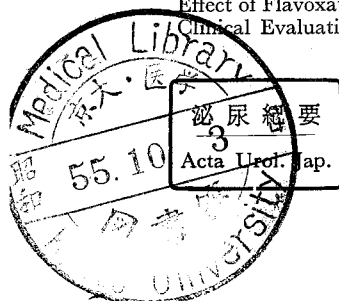
1980年8月

- 多核白血球遊走能にかんする研究  
 —腎盂腎炎患者および膀胱腫瘍患者について—……………黒田 泰二… 919
- 尿路感染症に関する免疫学的研究……………細川 進一・友吉 唯夫… 935
- 男性不妊にかんする内分泌学的研究……………谷風 三郎… 947
- 囊胞腎の形態診断 —核医学診断を中心に— (英文) ……藤野 淡人・ほか… 955
- 腎シンチグラフィーによる閉塞性腎疾患 (Obstructive Nephropathy) の残存腎機能の評価……………川村 寿一・ほか… 967
- 化学療法剤の前立腺組織ならびに精液内移行に関する研究  
 第3報: Carbenicillin Indanyl Sodium (CIPC) について ……足立望太郎・ほか… 979
- 抗癌剤の経膀胱的吸収に関する研究 —膀胱内注入療法の基礎—  
 第3報: Adriamycin の膀胱腫瘍組織内濃度……………永田 一夫… 983
- 膀胱腫瘍に対する局所注入療法 (第1報)  
 —抗癌剤 (Adriamycin) の効果について— ……安本 亮二・ほか… 989
- 麻痺患者の用手的膀胱結石摘出 (英文) ……近藤 厚生・ほか… 995
- Gomco Clamp を用いた包皮環状切除術の経験 ……林正 健二・ほか… 999
- 重複下大静脈 いわゆる periureteric venous ring の1例 ……金田 芳孝・佐長 俊昭… 1003
- L型腎に発生した腎細胞癌の症例……………野々村光生・ほか… 1007
- 骨盤腎に発生した腎盂扁平上皮癌の1例……………岸本 知己・ほか… 1015
- 成人男子にみられた尿管異所開口の1例  
 —本邦男子尿管異所開口44例の統計的考察—……………多田 安温・ほか… 1019
- 膀胱後部平滑筋肉腫の1例……………吉田 隆夫・ほか… 1031
- 前立腺癌に対する酢酸クロルマジノンの使用経験……………櫻木 勉・ほか… 1039
- 夜尿, 頻尿に対する Flavoxate Hydrochloride の効果 ……櫻井 昶・ほか… 1043
- 泌尿器科領域におけるブラダロン錠の臨床的検討……………吉田 修・ほか… 1051

- A Study of Polymorphonuclear Leukocyte Chemotaxis in  
 Pyelonephritis and Bladder Tumor ……Y. Kuroda… 919
- Immunological Studies on Urinary Tract Infection…………S. Hosokawa and T. Tomoyoshi… 935
- Hormonal Evaluation in Male Infertility ……S. Tanikaze… 947
- Clinical Evaluation of Radionuclide Study in Diagnosis  
 of Polycystic Kidneys ……A. Fujino et al… 955
- Radionuclide Imaging in the Assessment of the Residual  
 Cortical Function of Obstructive Nephropathies ……J. Kawamura et al… 967
- Study on the Prostatic Tissue and Seminal Plasma  
 Levels of the Chemotherapeutics  
 3. Carbenicillin Indanyl Sodium (CIPC) ……B. Adachi et al… 979
- Studies on the Absorption of Anticancer Agents through the Bladder  
 —Basis of the Instillation Therapy—  
 III. Urinary Excretion and Vesical Tissue Concentration of the  
 Instilled Adriamycin in the Patients with Bladder Cancer…………K. Nagata… 983
- Local Injection Therapy of Bladder Carcinoma  
 The Effect of Adriamycin to the Tumor (Report I) ……R. Yasuno et al… 989
- The Manual Delivery of Bladder Stone ……A. Kondo et al… 995
- Clinical Experience of Circumcision with Gomco Clamp ……K. Rinsho et al… 999
- Double Vena Cava (Periureteric Venous Ring):  
 A Case Report ……Y. Kaneda and T. Sacho… 1003
- Renal Cell Carcinoma in a L-Shaped Kidney: Report of a Case…………M. Nonomura et al… 1007
- Pelvic Kidney with Squamous Cell Carcinoma of the Renal Pelvis:  
 Report of a Case ……T. Kishimoto et al… 1015
- A Case of Ectopic Ureteral Opening in the Adult Male  
 —Review of the Literature of 44 Cases in Japan—…………Y. Tada et al… 1019
- Retrovesical Leiomyosarcoma: Report of a Case…………T. Yoshida et al… 1031
- Therapeutic Experience with Chlormadinone Acetate for  
 Patients with Prostatic Carcinoma ……T. Sakuragi et al… 1039
- Effect of Flavoxate Hydrochloride on Enuresis and Frequent Urination…………T. Sakurai et al… 1043
- Clinical Evaluation of Bladder in Urological Field…………O. Yoshida et al… 1051

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,  
 Kyoto University, Kyoto Japan 606  
 京都大学医学部泌尿器科学教室



到着後1ヶ月間

## 編 集 後 記

## 医学教育について(1)

『野性のエルザ』をはじめとする故アダムソン女史のエルザ・シリーズは、今世紀最高の動物文学であるといわれている。ライオンの子供に対する深い愛情は読者が感銘をおぼえずにはいられないが、特にエルザを野性に帰そうと苦心するところはもっとも感動的な場面である。エルザは生まれて2、3日もたっていない頃からアダムソン夫妻に育てられ成長するが、野生になかなか帰らない。それを辛抱強く、深い愛情で遂に成功に導く。

これはエルザがライオンとして生きるために、どうしてもなくてはならないものを与えたことになる。すなわちライオンとしての教育をアダムソン夫妻はしたことになる。

教育を何か特別なもの、改まったことのように思うとするとそれは間違いである。教育は人間にだけあるものではない。ライオンの世界にもちゃんとあり、狩の仕方をはじめライオンとしての生きかたを教えているのである。ライオンに限らず、多くの動物は教育がなければ種属を存続しない。すなわち教育は種属存続のための必然であるといえる。医学教育を考える場合、まず教育が人類にとって必然のものであり限られた者だけがやる特別なものでないことから認識すべきであろう。(O.Y.)

## 購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料と5,000円(送料とも)前納していただきます。  
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限り、口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会には氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

## 投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。  
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位はm, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, PHなどを使用し、は不要です。またBUN IVP NPN PSP TURなども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わずTable 1, Fig. 2等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。  
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)  
文献名は正式略称を用いてください。  
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿器科紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。  
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第26巻 第8号 1980年8月25日 印刷 1980年8月31日 発行  
創刊 稲田 務 顧問 加藤 篤二 定価 500円(送料別)

発行 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部

〒606 京都市左京区聖護院川原町34 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)  
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入